

西伊豆町 第2ブロック・安良里地区

津波避難行動ルールブック



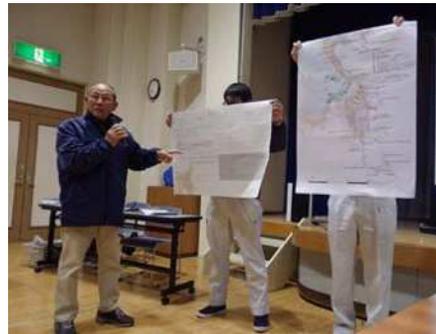
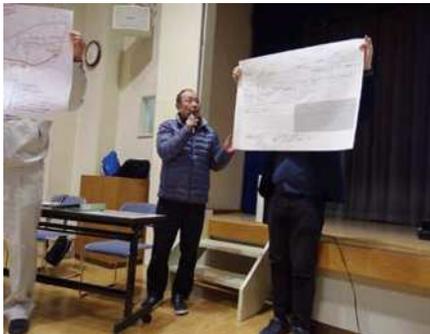
平成31年2月
西伊豆町 町民防災会議



**第2ブロック安良里地区
住民ワークショップ**

■実施内容

- ・避難ルートの危険性確認
- ・防災対応の話し合い
(避難場所など)



はじめに

1976年「東海地震説」が提唱されすでに42年余、当時地震学会は「予知も可能」と国家プロジェクトとして研究され、国も予知を前提とする「大規模地震対策特別措置法」を成立し、地震に備えてきました。

その後、阪神・淡路大震災や東日本大震災、熊本地震等が発生し、多くの人命と財産が失われました。

内閣府は東日本大震災後「地震の予知は困難」とする報告書をまとめ、「いつ起きても不思議ではない」と切迫性が指摘された東海地震も、これにより予知を前提とした警戒宣言は出せなくなりました。

また、これまで論じられてきた東海地震も単独ではなく、東南海、南海を合わせた「南海トラフ巨大地震」を想定して対策が講じられ、新たな防災対策が決まるまで当面の間、南海トラフ沿いで大規模地震発生の可能性のある異常な現象が観測された場合に、「南海トラフ地震に関連する情報」を公表することが決められ運用されています。

町では「町民防災会議」を立ち上げ、この安良里地区でも自治会長をはじめとした地域の代表者が集まり、地震、津波対策について協議してきました。

このルールブックは、その協議状況をまとめたものです。今後更に住民の皆さんや町当局と協議を重ね、この地域から一人も犠牲者を出さないように、議論を深め対策を進めて行きたいと考えています。

西伊豆町 町民防災会議

第2ブロック会議 会長 藤井 文憲



**「地震の揺れは…最大で震度6強にもなり、
約3分間も揺れが続くと予測」**
(内閣府想定による)

★まずは、地震の揺れから身を守りましょう

★自宅を安全な場所にしておく

家の耐震化は最も重要です。
家具の落下を防ぐ家具止めを確実に！

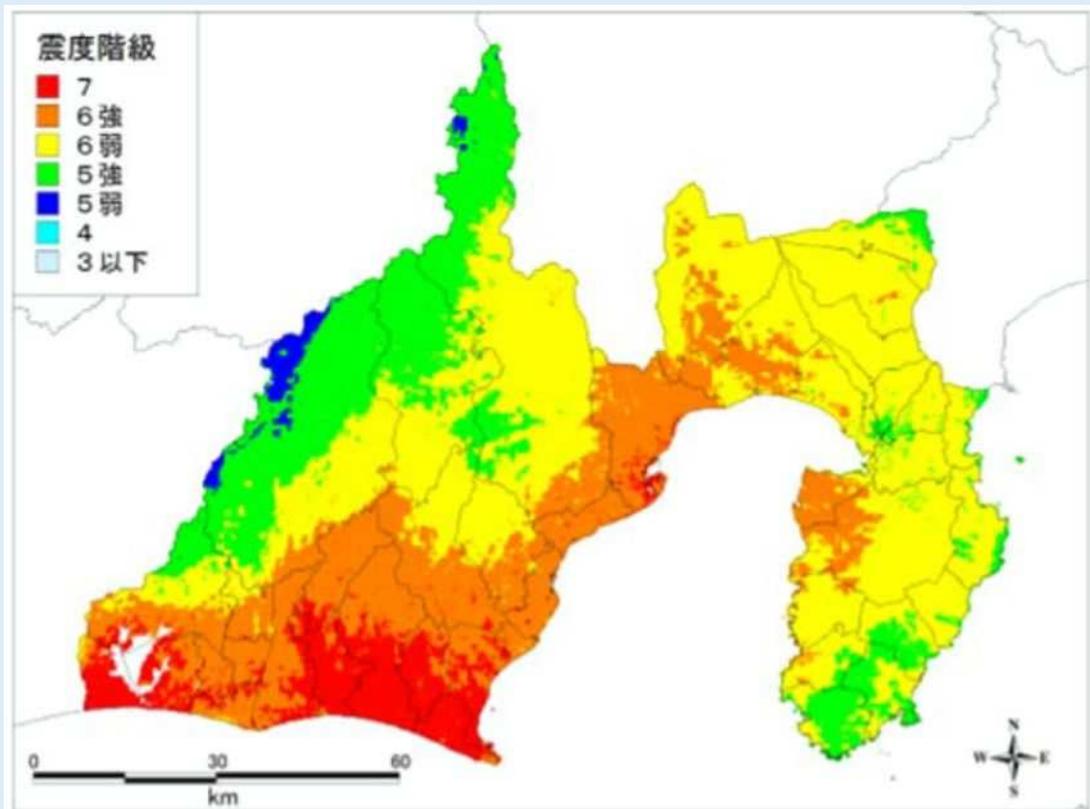
★確実に逃げられる方法を確認しておく

家族の避難場所を確認しましょう

★最終的に家族が避難する場所を決めておく

世帯別避難計画を作成しましょう

静岡県の震度予測



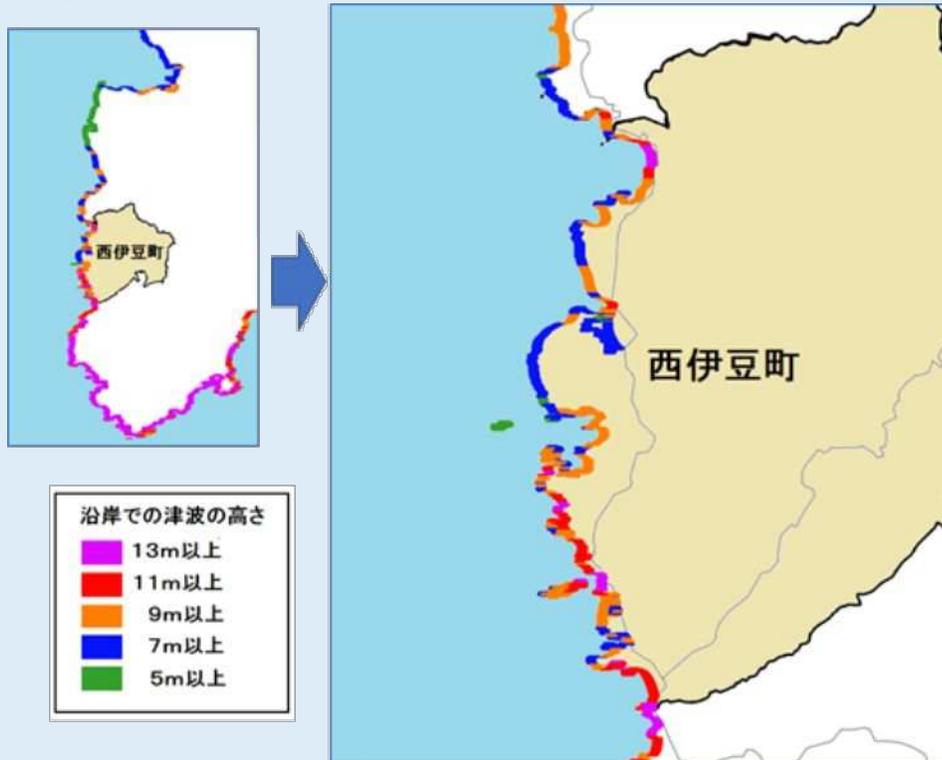
(出典: 静岡県第4次想定資料から 南海トラフ東側ケースでの想定震度分布)



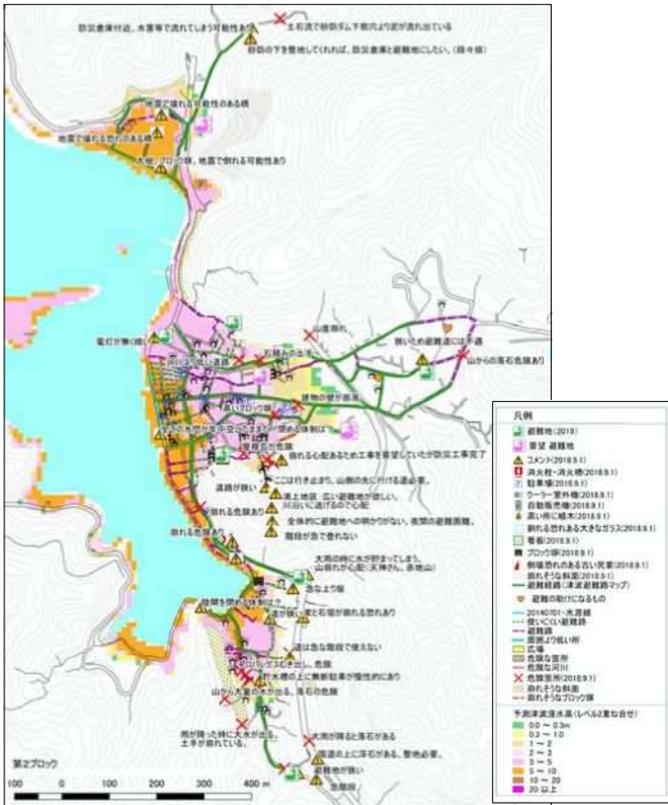
**「津波は…最短4分程度で到達し
高さ15メートルもの大津波になると予測」**
(内閣府想定による)

- ★津波から命を守るには、時間との勝負です！
何よりも命を守ることを最優先に考えましょう
- ★揺れたら“身の安全を確保しつつ” 情報を待たずに避難!!
- ★避難手段は徒歩、自動車は使わない
- ★避難後は津波が来ていなくても、自宅に戻らず
津波警報の解除が確認されるまで避難場所に留まりましょう

西伊豆町の津波予測



西伊豆町で最も高い津波の予測は15m……象島
 海岸線では最大14m……宇久須川河口北側・堂ヶ島付近・浮島北側
 高さ1mの津波が最も早く襲来するのは
 地震発生から3分49秒……田子島
 海岸線では4分01秒……安良里地区と田子地区の間
(出典:内閣府・南海トラフの巨大地震モデル検討会二次報告)



安良里地区は、せまい道路や倒壊・転倒の恐れのある建物等が多数あります。避難する時は次の2点に気をつけましょう。

★道路が通れなくなることがあることを想定しておく

★いつもより移動に時間がかかることを想定しておく

安全な避難ルートを確認するため、町に要望することや、地区で住民が自ら実施すべきことを、以下のように話し合いました。ルート上に危険なものが無くなり、安全に避難できるようにみんなで努力しましょう。

課題の内容	誰が対策する	どう解決する
門扉(陸閘)が開けっ放しになっている	全住民	<ul style="list-style-type: none"> 門扉等は「開けたら閉める」というルールを改めて住民の間で徹底する 避難する際は門扉等が機能しない可能性を考えて行動する
浦上から国道へ上がる細い道がジグザグなので整備が必要	町に要望	整備するように要望を出す
浦上から磯の宿の山側に浮き石があり、国道に落ちて町道に影響する可能性あり	町に要望	町から県・国へ工事してもらうように要望をしてもらう
中田避難地までの道路が悪い	町に要望	浜川から中田避難地に向けての農道・あぜ道にコンクリートを打ってほしい
どん坂からの道路の整備が必要	町に要望	どん坂避難地から赤地山配水池への避難路の整備をしてほしい
天坂の避難路(赤地山の下側)にある町道の法面が崩れやすい	町に要望	防護ネットで法面を保護してほしい

安良里地区の町民防災会議では、現状の避難地について、以下のように課題が指摘され、対応策をまとめました。さらに、新たな避難地の設置を進めていただくように、役場に要望を出すことにしました。

私たちも、避難地を少しでも整備して確実に避難できるようにしましょう。

安良里地区では、今後も避難が確実にできるような避難地が整備されているかを注視し、議論を続けていきます。

すべての住民の間で徹底を・・・

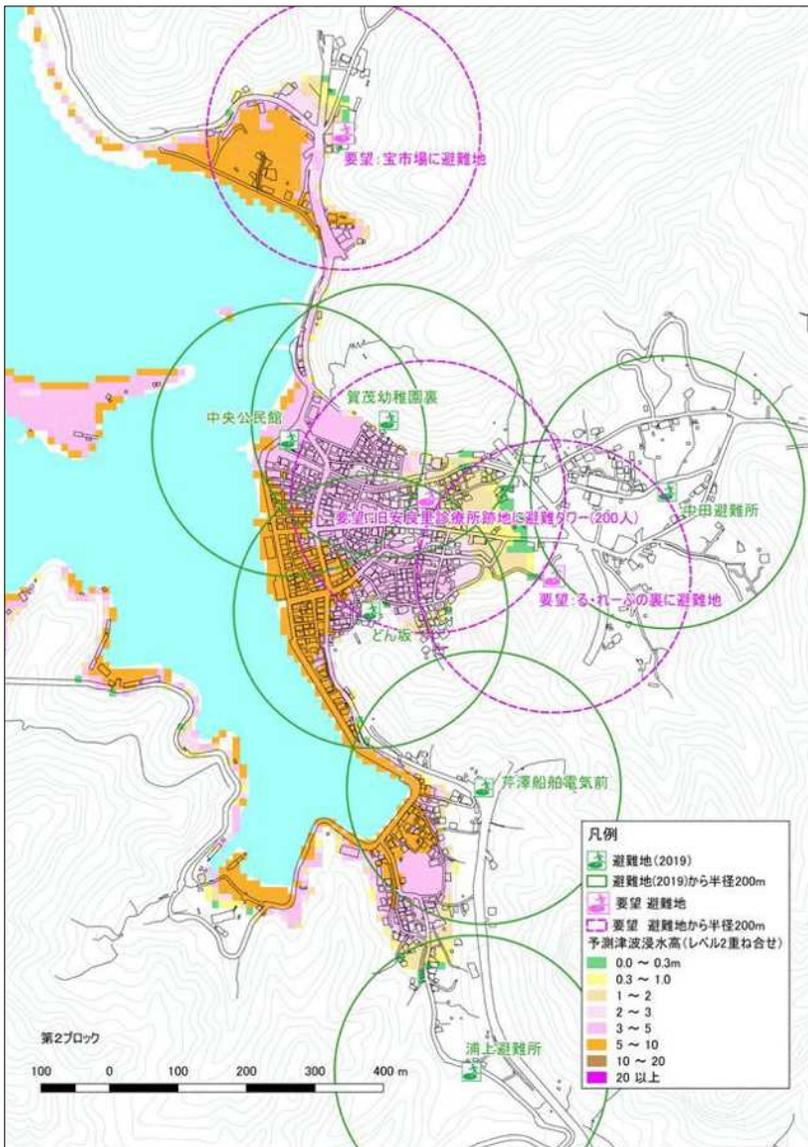
- ・ 懐中電灯を持ち歩く癖をつける
- ・ 避難時には懐中電灯を持ってくることをルール化して住民に周知する

<現状の避難地>

避難地一覧	改善すべき点	誰が対策する	いかに対策する
中田避難地	広いけど遠い 広い避難路に明かりが欲しい	各自 町に要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 懐中電灯を持ち歩く癖をつける ・ 避難時には懐中電灯を持ってくることをルール化して住民に周知する ・ 避難路と避難地にソーラーの明かりが欲しい
賀茂幼稚園裏	高齢者は登れない (整備が必要・階段も) 山崩れが心配 近隣の人しか使用できない		
中央公民館	海と逆側にも3階に登れる 外階段が欲しい	町に要望	町に要望する
どん坂	暗い、路地が狭い 石段に手すりが欲しい	町に要望	どん坂から赤地山に抜ける道が欲しい (道を整備してほしい)
すべての避難地		町に要望	※各避難地に目印となる明かりが欲しい
その他	防災倉庫の整備・山の整備	町に要望	防災倉庫(町・区)が砂防の下(旧火葬場)にあり、土砂災害に巻き込まれる可能性があるため移動してほしい

<新設・移転・廃止希望の避難地>

区分	場所・形態	要望内容
新設①	宝市場	<ul style="list-style-type: none"> ・町で指定してほしい(坂本地区) ・ソーラーの街灯をつけて欲しい ・ソーラーの明かりを地区で買って避難地に設置する
新設②	る・れーぶの裏	町で指定してほしい
新設③	旧診療所跡地	旧診療所跡地に、避難タワーを建設して欲しい



・西伊豆町では、すべての町民がすぐに避難出来るように、避難地の整備を進めています。
 ・地図に書かれた円は、避難地から200メートルのラインです。



<避難に時間のかかる、ないしは困難な人を支援するためのルール>

基本的な考えかた

★支援者の負担にならない支援を行う

地域で避難支援を行うためのルール

★自分の安全を第一にして、ゆとりのある場合にのみ、支援する

★情報の入手や理解が困難な人のため、声かけをしながら避難する

★普段から家庭・隣近所で話し合っ、事前に納得しておくことが重要





家の耐震化

静岡県や町の補助制度を活用して、家を耐震化しよう！！

- ・ 昭和56年以前の建物は、耐震診断をする
- ・ 診断の結果を受け、必要なら耐震改修する

※家が倒れると津波避難の妨げになり、他の人の命を守れなくなります。

家具止めで家具の転倒・落下を防止

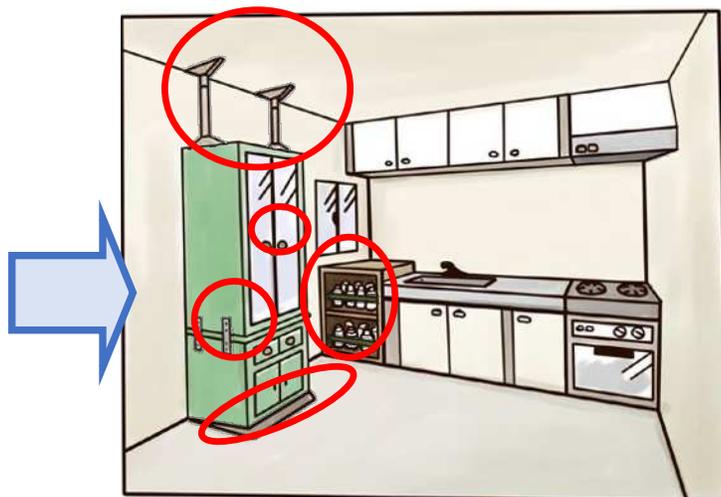
西伊豆町の補助制度を活用して、家具止めを実施しよう！！

- ・ 普段使っている場所の周辺には背の高い家具を置かない。
- ・ 寝る場所には、家具が倒れてこないようにする。
- ・ 家具の転倒によって部屋の入口が塞がれないようにする。
- ・ 下に重い物や危険な物、上に軽い物を収納する
- ・ 家具をL型金具・クサリやベルトで固定する。
- ・ ドアストッパー型の固定具や粘着ゴムで家具を固定する。
- ・ 窓ガラスには飛散防止フィルムを張り破片が飛び散らないようにする。

家具固定前



家具固定後





自宅にいる場合だけでなく、日頃からさまざまな場面を想定して、避難場所や避難ルートを確認しておきましょう。

特に通勤先や通学先など、家族が普段いる場所については、その避難地を確認し、いざという時に慌てる事がないようにしましょう。

また、家族との集合場所や、緊急時の連絡方法を決めておきましょう。

※避難に関する世帯別の避難計画を作成しましょう

世帯別避難計画			
【 地区】	【 記入日】		年 月 日
【代表者氏名】	【住所】	【電話番号】	
1.避難場所と避難経路			
自宅からの避難場所		避難完了時間	分
2.非常持ち出し品の用意			
<div style="list-style-type: none;"> <input type="checkbox"/> 非常持ち出し袋 <input type="checkbox"/> 貴重品（現金・免許証・保険証・預金通帳のコピーなど） <input type="checkbox"/> 常備薬やお薬手帳など </div>			



3.家族の避難計画				
家族の名前	性別	年齢	通勤・通学場所からの避難先	避難完了時間
				分
				分
				分
				分
				分
				分
				分
				分
避難後の家族との集合場所				
避難後の家族との連絡方法				
4.緊急連絡先				
第1連絡先	【名前】	【電話番号】		
第2連絡先	【名前】	【電話番号】		
第3連絡先	【名前】	【電話番号】		
5.家族の避難支援計画				
家族の名前	避難時の支援	支援方法	避難地で過ごす時の留意点	
◆避難するときに持参すべきもの				
()				



6.かかりつけ医と常用している薬のリスト

家族の名前	病名	かかりつけ医	かかりつけ医の連絡先

ここにお薬手帳のコピーを添付

コラム 西伊豆町の支援策

西伊豆町では下記のような、静岡県や町独自の支援策を用意しています。

これらの支援策を積極的に利用して、自宅・地域の安全性をさらに高めましょう。

支援項目	支援策
耐震診断	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅 ※戸建のほか、長屋、共同建ても対象です ■費用・無料 専門家(静岡県耐震診断補強相談士)を派遣し、耐震診断を行います 診断後に、住宅の耐震性を説明するとともに、一般的な相談にも対応します
耐震補強計画作成	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・昭和56年5月31日以前に建築 ないしは建築中だった木造住宅 ■補助・耐震補強計画の策定作業 1棟ごとに・96,000円が限度 高齢者のみの住宅・144,000円が限度
耐震改修	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・昭和56年5月31日以前に建築した木造住宅 耐震診断で耐震評点が1.0未満のものを、1.0以上とする耐震補強工事 ■補助額・一般住居 50万円まで (耐震補強のPRを行う住宅に+30万円追加) 高齢者等住居 70万円まで (耐震補強のPRを行う住宅に+30万円追加)
家具止め	<ul style="list-style-type: none"> ■一般世帯・固定金具等の購入に要する経費 10,000円を限度額とする ■災害時要援護者世帯等・家具の固定に要する経費、および固定金具等の購入に要する経費 22,500円を限度額とする
ブロック塀対策	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・ブロック塀等撤去、およびブロック塀等の緊急改善 ■補助額・★撤去・1敷地につき10万円を限度 ★改善・1敷地につき25万円を限度
浮石落下防止	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・住民や住居等に危害を及ぼすおそれのある 浮石の落下を防止するため、自主的に行う防災工事 ■補助額・補助限度額は10万円

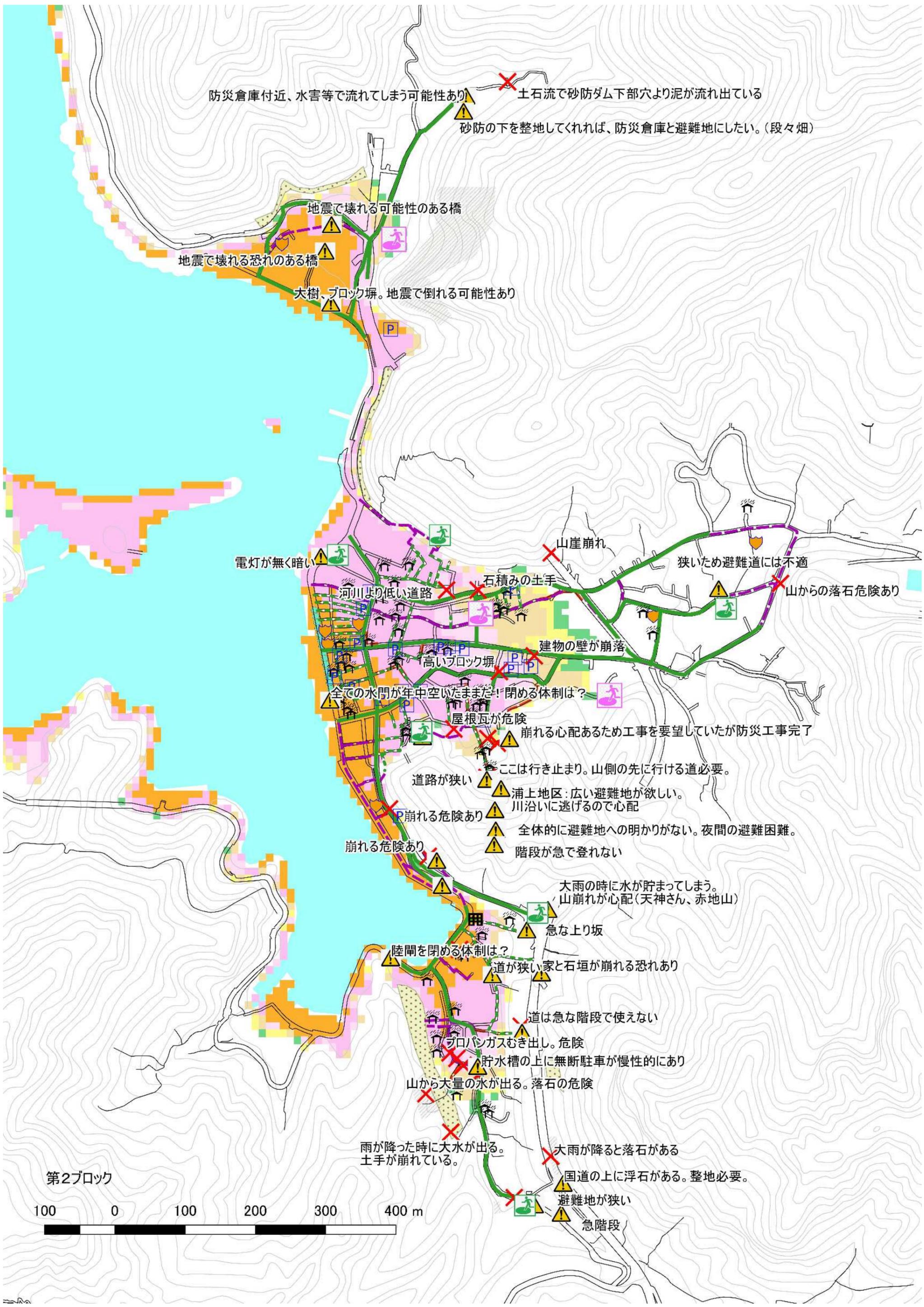
※町民防災会議のワークショップでは、東日本大震災の津波の映像を視聴しました。
このDVDは、町の防災課で所有していますので、地区の集会などでも視聴可能です。DVDを視聴して、津波の怖さを、ぜひ、皆さんも共有してください。

凡例

-  避難地(2019)
-  要望 避難地
-  コメント(2018.9.1)
-  消火栓・消火槽(2018.9.1)
-  駐車場(2018.9.1)
-  クーラー室外機(2018.9.1)
-  自動販売機(2018.9.1)
-  高い所に植木(2018.9.1)
-  割れる恐れある大きなガラス(2018.9.1)
-  看板(2018.9.1)
-  ブロック塀(2018.9.1)
-  倒壊恐れのある古い民家(2018.9.1)
-  崩れそうな斜面(2018.9.1)
-  避難経路(津波避難路マップ)
-  避難の助けになるもの
-  20140701-水涯線
-  使いにくい避難路
-  避難路
-  周囲より低い所
-  広場
-  危険な箇所
-  危険な河川
-  危険箇所(2018.9.1)
-  崩れそうな斜面
-  崩れそうなブロック塀

予測津波浸水高(レベル2重ね合せ)

-  0.0 ~ 0.3m
-  0.3 ~ 1.0
-  1 ~ 2
-  2 ~ 3
-  3 ~ 5
-  5 ~ 10
-  10 ~ 20
-  20 以上



防災倉庫付近、水害等で流れてしまう可能性あり

土石流で砂防ダム下部穴より泥が流れ出ている

砂防の下を整地してくれば、防災倉庫と避難地にしたい。(段々畑)

地震で壊れる可能性のある橋

地震で壊れる恐れのある橋

大樹、ブロック塀。地震で倒れる可能性あり

山崖崩れ

狭いため避難道には不適

山からの落石危険あり

電灯が無く暗い

河川より低い道路

石積みの土手

建物の壁が崩落

高いブロック塀

全ての水門が年中空いたまま! 閉める体制は?

屋根瓦が危険

崩れる心配あるため工事を要望していたが防災工事後

道路が狭い

ここは行き止まり。山側の先に行ける道必要。

浦上地区: 広い避難地が欲しい。川沿いに逃げるので心配

全体的に避難地への明かりがない。夜間の避難困難。

階段が急で登れない

崩れる危険あり

大雨の時に水が貯まってしまう。山崩れが心配(天神さん、赤地山)

急な上り坂

陸間を閉める体制は?

道が狭い家と石垣が崩れる恐れあり

道は急な階段で使えない

プロパンガスむき出し。危険

貯水槽の上に無断駐車が慢性的にあり

山から大量の水が出る。落石の危険

雨が降った時に大水が出る。土手が崩れている。

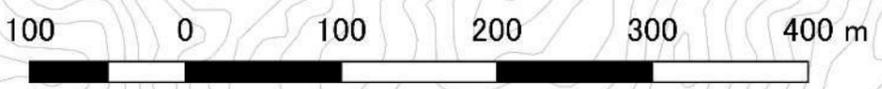
大雨が降ると落石がある

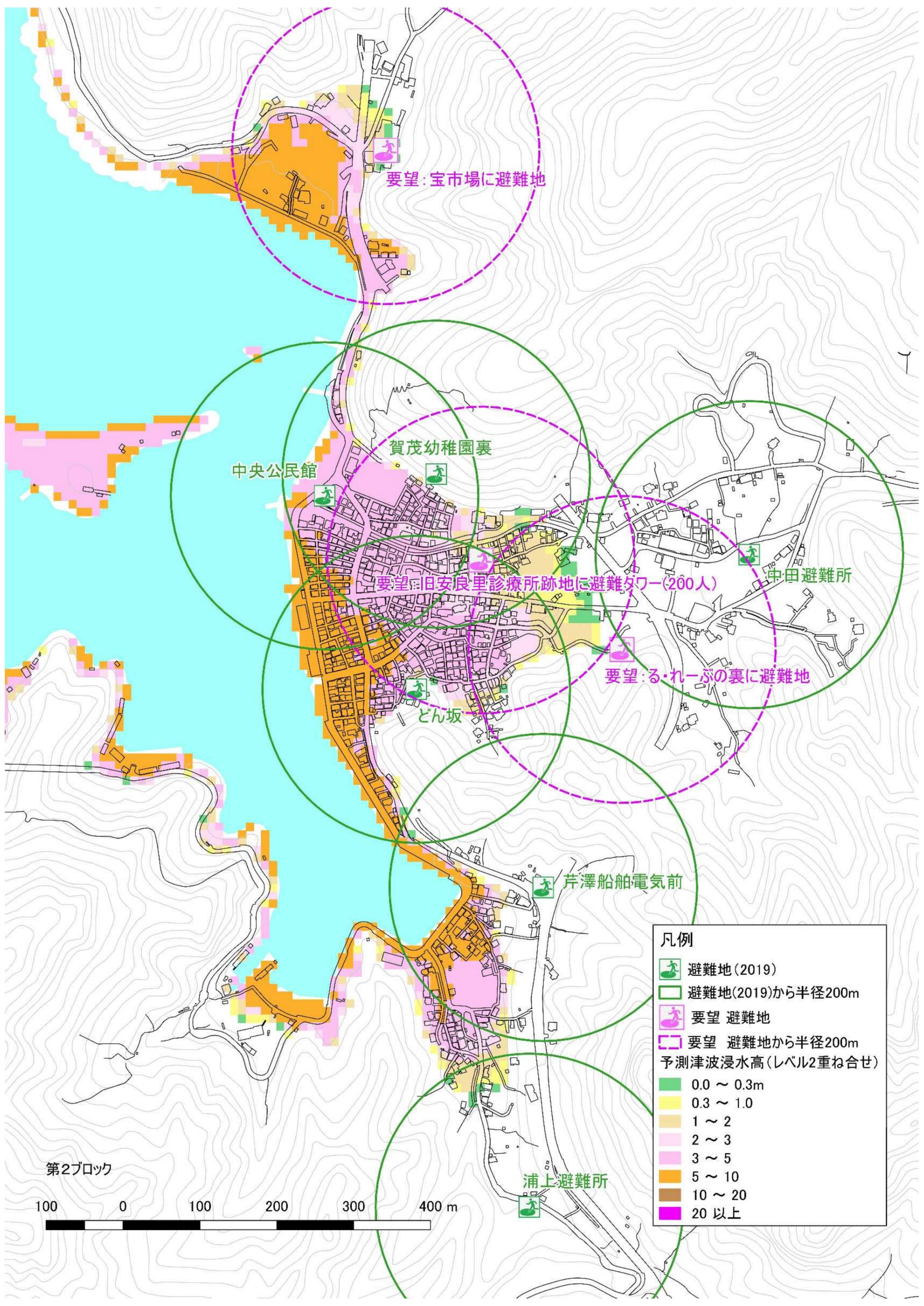
国道の上に浮石がある。整地必要。

避難地が狭い

急階段

第2ブロック





要望：宝市場に避難地

中央公民館

賀茂幼稚園裏

要望：旧安良里診療所跡地に避難タワー(200人)

中田避難所

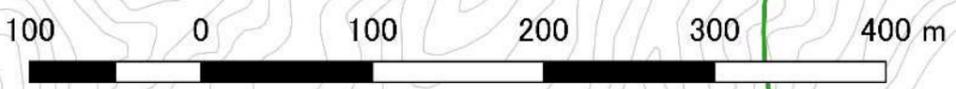
要望：る・れーぶの裏に避難地

どん坂

芹澤船舶電気前

浦上避難所

第2ブロック



凡例	
	避難地(2019)
	避難地(2019)から半径200m
	要望 避難地
	要望 避難地から半径200m
予測津波浸水高(レベル2重ね合せ)	
	0.0 ~ 0.3m
	0.3 ~ 1.0
	1 ~ 2
	2 ~ 3
	3 ~ 5
	5 ~ 10
	10 ~ 20
	20 以上